

対ペルー無償資金協力「ベネズエラ移民・難民及び受入コミュニティのための人道
支援及び持続的な解決計画」食料キット供与式
片山大使挨拶【2021年12月15日（水）10:00～】

おはようございます。

本日、日本政府を代表して、IOMとの連携の下、EUの代表者と共に60人の方々に食料キットを直接配布できることを、大変嬉しく思います。IOM、そしてADRAの関係者に対し、順調なプログラムの進捗を感謝申し上げるとともに、日頃の活動に衷心より敬意を表します。

我が国は、ベネズエラ情勢の悪化継続が、ベネズエラ国民、更には、周辺国国民に大きな影響を及ぼしていることを深く憂慮しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大が、避難民やペルーのような受入国の大きな負担となっていることも懸念もしています。日本はペルーから遠く離れてはいますが、太平洋を挟んだ隣国として、何か協力できないかという気持ちを持っています。

我が国はこれまでにベネズエラ避難民支援としてペルーに対し、国際機関やNGOを介して850万米ドル以上の人道支援を実施してきました。IOMとの本支援プログラムでは、避難民の生活安定とともに、受入れコミュニティとの統合を支援する活動が予定されています。これらの活動が、コミュニティと避難民の皆様双方に役立つことを願っています。

有り難うございました。